

平成24年度第1回大石田町入札監視委員会会議録（定例会議）

開催日時	平成24年11月21日（水）午後3時00分～4時50分
開催場所	大石田町役場 2階「庁議室」
出席委員	委員長 阿部 宏 委員 伊藤三之 委員 柴田健一 委員 鈴木喜左夫
事務局出席者	遠藤総務企画課長、井荊企画財政主幹、土屋財政主査、井荊主任
関係課出席者	荒井建設課長、遠藤建設主幹

議事概要

1. 開会	井荊企画財政主幹の進行で開会する。（午後3時00分）
2. あいさつ	遠藤総務企画課長が挨拶を行う。
3. 委嘱状交付	各委員へ委嘱状の交付を行う。
4. 委員長及び職務代理者の選任	委員の互選により、委員長に阿部宏委員、職務代理者に伊藤三之委員を選出した。
5. 議題（委員長が議長となり、議事を進行する。）	
（1）建設工事等の入札・契約手続きの運用状況等について	
事務局	入札監視委員会の設置目的や役割等について説明する。 続いて、大石田町における現在の入札方式や事務の流れ等について説明する。 引き続き、発注工事総括表及び発注事業一覧表、指名停止一覧表に基づき、平成24年4月から9月までに発注した工事、工事関係の業務委託について、及び指名停止の状況について説明する。
委員	総合評価落札方式を取り入れた狙いは何ですか。また、3,000万円を超える土木工事にだけ適用させているが、それはなぜですか。
事務局	単に価格が安いというだけではなく、より良いものを作ってもらい、また地域に貢献しているという点も加味しながら、価格と技術の両面から総合的に優れた請負業者を選定するために簡易型総合評価落札方式を取り入れている。 簡易型総合評価落札方式は、平成22年度から施行しているが、当町では、専門的な技術者がいないこと、また、事務量も増えてくることから、まずは3,000万円を超える土木工事からはじめて、順次、範囲を拡大しようと考えている。
委員	土木工事からはじめるということですが、建築工事やその他の工事と何か違いがあるから土木工事からはじめているのですか。
事務局	特に違いはありませんが、建築工事やその他の工事は対象となるような大きな工事が少なく、発注件数の多い土木工事からとしたところです。
委員	総合評価の5つの評価項目については、誰が評価するのですか。
事務局	町職員が行います。基準に従って機械的に行います。
委員	将来的に、一般競争入札と総合評価落札方式を合わせて執行する考えですか。
事務局	そのとおりです。

(2) 抽出事案の審議について	
抽出事案①：町道横山下宿1号線凍雪害防止（流雪溝）工事	
担当課	担当課である建設課が、審議事案説明書及び入札調書、図面等関係資料に基づき、事業概要、手続きの経過、金額等について説明する。
委員	この工事の発注は、総合評価落札方式ですが、5つの評価項目の内容はどのようなものですか。
担当課	企業の施行実績と工事成績、技術者の施行経験と工事成績、地域貢献です。
委員	評価項目はどのようにして決定するのですか。
担当課	発注前に、学識経験者により評価項目の決定基準を定めます。評価するために指名業者から技術資料を提出してもらい、基準に照らし合わせて評価します。
委員	評価項目は、何点満点ですか。
担当課	10点です。
委員	評価項目で、技術者の施行経験が0点というところが多いがなぜですか。
担当課	経験のある技術者が、自社の手持ち工事で既に主任技術者として専任しているということなどが考えられますが、技術資料に基づき評価しているため、他にはわかりません。
抽出事案②：廃校舎等解体工事	
担当課	担当課である総務企画課が、審議事案説明書及び入札調書、図面等関係資料に基づき、事業概要、手続きの経過、金額等について説明する。
	(質問等は特になし)
(3) その他	
	(特になし)
6. その他	
委員	業者へ通知した書類や閲覧した書類など、コピーまですると大変だと思いますので必要ありませんが、本物を見られるようにしておいてほしい。また、資料を通し番号で作成してもらおうと見やすいので、お願いしたい。
事務局	わかりました。
事務局	次回の委員会は、10月から翌年3月までの発注分になりますので、5月上中旬頃に開催したいと考えていますので、よろしく願います。また、その際の審議事案の抽出ですが、委員の50音順となっていますので、伊藤委員になります。発注事業一覧表をまとめ次第お送りしますので、よろしく願います。
7. 閉会	委員長が委員会を閉じる。(午後4時50分)